

## とやま県政をぐっと身近に!

富山県議会議員

## 井上学県政報告

Vol.2

平成 28 年 1 月

発行:自由民主党  
富山県議会議員会

新年、明けましておめでとうございます。ご家族一同、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年 4 月からあつという間に 8 か月が過ぎました。慣れない議員活動で戸惑う事ばかりですが、皆様方の力強いご支援で何とか今日までやって来られました。あらためてこれまでのご支援、ご尽力に心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年 3 月 14 日に県民の半世紀にわたる悲願であった北陸新幹線が開業し、県内では期待以上の効果が現れているところです。この効果を将来にわたって持続させ、富山県の進歩、発展につなげていく事が大切であり、活力と魅力にあふれた未来を創生していかなければなりません。

新幹線の全線整備を見据え、関西、中京方面への利便性の確保、高山本線の特急増発、国際化が加速する羽田空港と富山空港との便数維持と利用促進など、また、災害が少なく、子育てがしやすい環境づくり、「とやまに住んで良かったね!」と県民誰もが実感できるそんな県づくりのため、今後とも、誠心誠意頑張ってまいりますので、どうか皆様方の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



富山県議会議員 井上学

## 11月定例県議会における主な質問

**問1** 梶田隆章さんのノーベル物理学賞授賞を讃えるための「ノーベル物理学賞受賞顕彰事業」の内容は。

山崎知事政策局長 答弁

梶田さんの偉業を称え、受賞記念パネル展及び記念講演会を開催したい。パネル展については、1月以降に1ヶ月間程度、富山県民会館1階ロビーにおいて開催したい。記念講演会については、来年1月以降(1月17日に決定)、県民の皆さんや研究者、大学生、高校生を対象とし、未来を担う若者が自然科学や宇宙に関心を持つ良い機会としたい。



**問2** 11月補正予算案にある「ノーベル街道魅力向上・普及促進事業」の内容とノーベル街道の魅力向上、普及促進にどのように取り組んでいくのか。

漆畑観光地域振興局長 答弁

梶田隆章さんの受賞を契機に、ノーベル街道の一層の普及促進を図るため、歴代受賞者を顕彰する展示板を富岩運河環水公園や富山きとぎと空港などに2箇所程度設置したい。県だけでなく、沿線自治体や関係団体などの独自の取り組みや協力が不可欠であることから、今後とも、これらの関係者と連携しながら、ノーベル街道を活かした飛越地域のさらなる振興や情報発信などに積極的に取り組んでまいりたい。



**問3** ノーベル街道を活かして、年間400万人いると言われる高山の観光客を本県へ誘致するなど、飛騨地域との交流を促進すべきと考えるがどうか。

漆畑観光地域振興局長 答弁

岐阜県と連携し、本県と飛騨地域の夏のドライブスポットや観光地を紹介する広告を旅行雑誌に掲載した。また、海外からの個人旅行者向けに、高速バスや観光路線バスを対象としたフリーきっぷを利用したツアープランを海外の旅行会社等に紹介していくこととしている。さらに、「ノーベル街道」沿線の富山きとときと空港について、飛騨市や高山市でエアポートセールスを行い、飛騨地域の空の玄関口として利用いただくようPRしていきたい。



**問4** ノーベル街道の魅力アップには、その基盤となる道路の整備が大事と考えるが、富山高山連絡道路の整備進捗状況と今後の取り組み方針について問う。

林土木部長 答弁

猪谷から片掛間1.6kmについては、今年度、神通川に架かる（仮称）片掛橋の下部工などに着手するとともに、その上流に架かる（仮称）猪谷橋の下部工にも近々着手する予定である。また、檜原から栗山間延長約12kmが大沢野富山南道路として、昨年度、国において新規事業化され、現在、地質調査及び設計が進められている。岐阜県側では、高山国府バイパス6.3kmが去る10月5日に完成したところである。今後とも岐阜県や沿線市町村等とも連携し整備促進を働きかけてまいりたい。

**問5** 梶田さんに続く次のノーベル賞受賞者を本県から輩出する土壌づくりのため、理科や科学に対して興味や探究心を持ち、優秀な活動を行った児童・生徒を顕彰し支援していくことが重要と考えるが所見を問う。

渋谷教育長 答弁

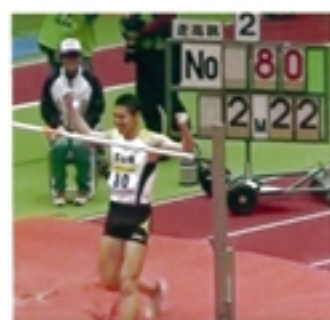
平成23年度から、小・中・高校生を対象に「とやま科学オリンピック」を実施しており、参加者も年々増加している。今般、今年の科学OPに参加した中学生の選抜チームが、第3回科学の甲子園ジュニア全国大会において、総合優勝し、誠に喜ばしく思っている。今後とも、探究科学科のカリキュラムの充実やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の先進的な理数系教育に取り組むなど、児童・生徒が理科系の科目に興味を持ち続けられるよう環境整備に努めてまいりたい。

**問6** 将来、オリンピックや国体などの大会で県出身のアスリートが活躍するために、これまでのジュニア世代の選手の発掘・育成の成果と今後の取り組みについて問う。

石井知事 答弁

10年前から実施している小学5年生対象の「未来のアスリート発掘事業」において潜在能力を秘めた児童を発掘し、中学生段階では、競技スキルを高める「元気とやまスポーツ道場」等において、長期的視点で育成強化を図る一貫指導体制を整備してきた。世界ジュニア陸上に出場した中澤優選手はじめ、これまで11名が年代別日本代表選手として、国際大会に出場しているほか、今秋の国体のカヌー競技において、高校1年生と中学3年生のペアが、上級生を破り全国優勝を果たしている。

今後とも県営スポーツ施設の整備を継続するとともに、有望なジュニア選手がオリンピックや国体等で活躍できるよう取り組んでまいりたい。



**問7** 県内に多くの若者を呼び込むためには、県内に魅力ある大学や学部、学科が多く存在する必要があると考えるが所見を問う。

山崎知事政策局長 答弁

今年度大学生を対象に行った意識調査によると、学生にとって魅力のある学部・学科が多く存在することが、県内外から多くの若者を呼び込むことにつながると考える。まず、県立大学においては、全国にも例のない医薬品工学科の新設をはじめとする教育研究分野の拡充を行い、平成29年4月には、入学定員を100名、4学年で400名増員することとしており、県では、校舎の増築や新たな機能を取り入れた魅力あるキャンパス整備を進めることとしている。

また、富山大学では、理工系新学部の設置や薬学部への地域枠の確保などについて検討を進めているところである。



## 問8 大学の地方移転等を促進するための制度の創設について、国に働きかけてはどうか、所見を問う。

### 石井知事 答弁

東京圏の大学の地方移転等は、まずは運営費交付金などを所管している文部科学省など国において地方創生の観点からの取組みを行っていただくことが重要であると考えている。全国知事会と連携して、地方移転する大学への運営費交付金や私立大学の経常費補助金について特別に加算措置するなど大学の地方移転に対する支援制度の創設について、国に対し働きかけているところである。実現のハードルは高いと思うが、今後も粘り強く訴えていきたい。

## 問9 公共工事予算が減少する中、建設業は厳しい経営状況に置かれているが、県は建設業界の現状について、どのように認識しているのか、問う。

### 林土木部長 答弁

県内の建設企業については、公共投資の減少や競争の激化等により厳しい経営状況となっており、平成10年頃のピークと比較すると、建設業許可業者は約2割減少し、従事者についても約4割減少している。また、高齢化も進んでおり、経営基盤の強化や若手入職者の確保と育成などが課題であると認識している。地域に貢献し技術力と経営力に優れた建設企業が、将来にわたり健全に経営を続けられるよう、今後も、建設企業の実情をよく把握し、必要な支援の実施や、公共事業関係予算の確保に努めてまいりたい。

## 問10 地域経済を活性化させ、建設業が地域や住民の安全・安心を守るという社会的使命を果たしていくためにも、経済波及効果の大きい公共工事予算を安定的に確保することが必要と考えるが、所見を問う。

### 石井知事 答弁

今年度の県の公共事業関係予算については、経済対策が行われる以前の平成24年度と同水準となっている。今後の県内の公共事業については、新幹線の開業を契機とした地方創生や災害に強い強靱な県土づくりのための社会資本整備などを進めることが重要であると考えている。関係各県や国等と共同で策定している「北陸ブロック社会資本整備重点計画」に、本県の事業をしっかりと盛り込み、必要な社会資本整備を着実に進めてまいりたい。国の予算の更なる充実を働きかけるなど努力してまいりたい。



## 問11 ふるさと納税については、国の税額控除限度額の引上げや本県の返礼品の拡充などにより、申込件数が増加しているものと思われるが現状はどうか、今後の取り組み方針と併せて問う。

### 新田経営管理部長 答弁

本県における昨年度のふるさと納税の申込実績は、件数で256件（前年度比9.9倍）、金額で1,416万円（前年度比7.4倍）と大幅に増加した。本年度は11月末時点で、件数で305件（前年度同期比2.6倍）と既に昨年度1年間の件数を超え、金額では1,006万円（前年度同期比1.6倍）と昨年度に続き1千万円を超えたところである。ふるさと納税は、その運用にあたり、制度本来の趣旨から逸脱しているのではないかと指摘もあり、本県においては、制度本来の趣旨に沿って、適切な範囲で制度を運用するとともに、その活用やPRに努めてまいりたい。

## 問12 政府は「企業版ふるさと納税」の創設を検討しているとのことだが、この制度についてどのように考えているか、本県として期待するところと併せて問う。

### 新田経営管理部長 答弁

「企業版ふるさと納税」については、国・地方団体だけではなく、企業が寄附を通じて地方創生に参画することにより、地方創生を持続可能な取組みとするものであり、企業による創業地などへの貢献や地方創生に取り組む地方団体のインセンティブとなると期待している。

本県としては、地方団体の意見を十分踏まえて、制度本来の趣旨である地方創生に資する制度となるよう全国知事会などを通じて働きかけるとともに、本県における制度の有効活用について検討を進めてまいりたい。



## 井上学の主な活動

- 7 11 船入らっきょうまつり  
12 富山市合併10周年式典  
16 大沢野政経研究会  
22 地方創生本部会議  
23 自民党厚生環境部会県外視察(長野県)～24  
25 富山県下消防操法大会  
26 佐々成政戦国時代祭り  
27 ポーイスカウトイギリス来日団交流  
29 富山市重点事業説明会  
8 1 富山市民感謝と誓いの集い  
2 大沢野県政報告会  
4 船嶼自治振興会要望  
6 大沢野鎮富塔聖堂祭  
7 全国県議会議員野球大会～9日  
13 大山福沢地区ほか盆踊り、夏祭り  
15 富山県戦没者追悼式  
20 全国新人議員研修会  
21 大沢野地区戦没者追悼式  
22 キラリ開館式、県第2選挙区支部研修会  
大沢野花火大会  
23 ドクターヘリ運航開始式、八木山高内県政報告会  
自治振興会重点要望箇所視察  
29 県第2選挙区支部パークゴルフ大会  
北方領土返還大会  
30 上二杉県政報告会  
9 1 経営企画委員会県外視察～3日  
5 富山高等支援学校他運動会  
6 県総合防災訓練  
8 経営企画委員会視察(宮城県、岩手県)～3日  
9 9月定例県議会～30日  
日露議連勉強会、党都市問題調査会、拉致問題集会  
11 観光振興議連富山駅視察  
12 大沢野小運動会  
13 飛越ふれあい祭り  
15 犯罪被害者支援事例勉強会  
17 9月議会一般質問  
20 新美地区他住民運動会、八木山3世代交流会  
政調5部会友好団体懇談会  
26 平和安全法制セミナー  
27 下夕北部地区他住民運動会  
29 犯罪被害者支援PT視察、県医師会との懇談会  
10 2 隆山会講演会  
3 大沢野幼稚園運動会、神通峡美術展開会式  
4 春日温泉まつり、神通峡レガッタ開会式  
5 護国神社秋季例大祭  
8 富山ブロック政調会長会議  
11 大沢野武道大会、セーナー発祥、栄町50周年  
13 日中友好議連訪中～17日  
18 大久保小学校学芸発表会、ふなくら祭り、ハロウィン  
21 小学校連合音楽会  
24 全国豊かな海づくり大会～25  
少年サッカージュニアチャンピオンズカップ開会式  
27 党地域ブロック現地調査  
29 TPP勉強会  
31 党支部長、幹事長、政調会長会議  
11 1 富山マラソン、万福寺まつり、大沢野文化祭、船入まつり  
2 富山市表彰式、総合交通対策特別委員会  
3 大沢野駅伝大会、JA収穫祭、大山芸術発表会  
5 地方議員連絡協議会総会  
7 石井知事県政報告会  
8 東京大沢野会総会  
15 消防総合訓練  
17 全国議員研究交流大会  
19 決算特別委員会、県東部地域活性化協議会  
21 大沢野幼稚園発表会  
22 ふれあい共生フォーラム  
23 下夕北部地区文化祭  
25 経営企画委員会、県内視察  
26 11月定例県議会～12/14  
27 富山市政懇談会、商工懇談会  
28 県第2選挙区支部役員会  
30 不登校引きこもり勉強会、都市農村交流勉強会  
12 2 マイナンバー勉強会、福祉環境部会、商工会議連総会  
5 県第2選挙区支部女性部セミナー  
6 大山上野用水現地調査  
10 予算特別委員会、雅友会総会  
11 経営企画委員会  
12 立山山麓スキー場安全祈願祭  
農村と土地改良の集い  
13 北朝鮮人権侵害問題講演会、映画上映会  
15 県観光振興議員連盟視察～17  
17 犯罪被害者支援PT視察～18  
19 東条野スキー場安全祈願祭  
23 高志リハビリ子供支援センター竣工式  
25 党第2選挙区支部役員会



自治振興会要望にて



中央農業高のモンキー犬と



イギリススカウトと交流



ドクターヘリ運航開始式



街頭演説



パークゴルフ大会



神通峡美術展



春日温泉まつり



梶田先生横新幕設置



中国訪問団にて

## 連絡先

## 【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421

## 【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7  
TEL 076(467)2359 FAX 076(403)2620  
携 帯 090-9767-1098  
ホームページ <http://www.inoue33.net/>  
E-mail [gaku2014@yahoo.co.jp](mailto:gaku2014@yahoo.co.jp)

県議会の詳しい様子は、  
富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会 <http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/>

## ■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。